



内閣府認定特区高等学校【全国広域通信制】

明蓬館高等学校

Meihokan High School

<http://www.at-mhk.jp>



←めいほうかんホームページ <http://www.at-mhk.jp>

←日々の様子をぜひご覧ください→

本校 Facebook→

明蓬館高校は2009年4月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、成果物やテストで学習を評価、年4日間福岡安宅（あたか）の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

親はどこまで子どもの挑戦、冒険を許すのか、許せるのか

学校長 日野 公三

親の想像できる、想定できる世界で、想定できる人生を歩んでほしい。  
 多くの親がそんな願いをかなえるために、学校があるのではないかと思います。しかし、時代も変わり、予測困難内時代になっている今は、そもそも親の想像できる世界、想定できる世界ってなんだろうってことですね。  
 親は子どもに挑戦してほしいと思う一方で、無難で安定して人生を送ってほしいと思いがちです。失敗を怖がります。しかし、失敗を恐れ、挑戦をしないことこそがリスクにもなります。はてさて、親はどう考え、行動すればよいのか。  
 保護者の揺れる気持ちに向き合う日々です。



グリーンカーテンと  
生徒近況



夏休み明け始業式では情報検定の見事合格した4名の生徒の表彰から始まりました。秋には準2級、2級へ挑戦します。又、進路部会主催による「大学ってどんどこ?」というオンライン講座を受講し進路についても深めていっています。

夏休み中賑やかに花を咲かせてくれた朝顔のグリーンカーテンは生徒達登校まで何とかもちこたえてくれました。種とり作業をしたいところですが、五月雨式に花を咲かせてくれるのでまだできないところ。朝顔種取り後のプランターには、昨年田川科学技術高校の生徒さんが育てたシクラメンの種が採れましたので、それを蒔こうと思います。植物を育てる楽しみが生徒達にも伝わってきています。

明蓬館全校
596名

本校管轄生徒 内訳 (10/1 付)		
本校単独	本校管轄	合計
98名	60名	158名





校章のコンセプト

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています

彼岸花祭り復活に向けて

学校周辺の田んぼも次々と稲刈りが行われています。そして台風14号も大きな被害なく過ぎていき一安心でした。さらに彼岸入りを待っていたかのように、彼岸花が見事に開花していき秋の気配を感じる今日この頃です。

安宅小峠地区の彼岸花群生地が鹿や猪の被害にあってから本校のある安宅交流センターの周辺に彼岸花の球根を植え始めて早4年目。「花咲かじじばば運動」や「高校生と地域のパートナーシップ事業」として地道に取り組んできました。

地元のおじいちゃんおばあちゃんたち曰く、子や孫が戻ってきた時「きれいやね」と喜んでくれるよう、安宅の地に誇りを持ってくれるよう毎年少しづつ増やすんだと。

めいほうかん高校も賛同して一緒に球根を植えてきました。その成果が出てきて今年は数か所ではありますが見事な彼岸花群生を目にすることができました。

10年計画プロジェクト、彼岸花祭り復活を夢見て頑張ります。 副校長 小賀 友子

見事！お彼岸に満開！



卒業生 来校



卒業生の井上さんが新米を届けてくださいました。福岡エコ米に認定されているレンゲ米です。学校指定ポロシャツを着てくださり、元気そうなお姿に先生方皆嬉しかったです。卒業生の皆さんも顔を見せに来てくださいね！

留学生帰国 個別スクーリング



夏休み中ロシアのノボシビルスクバレエ学校へ留学中の実羽さんが帰国して個別スクーリングに参加しました。卒業年次であります、九月からはロシア人クラスにてあと三年間頑張る予定です。 FIGHT!



コロナ禍で5つの部活動は中止にしていますが、週に一回の体育は生徒達の楽しみでもあるので、広いグラウンドにて密にならないように行っています。グランドゴルフが中心ですが、今回は風もないのでバドミントンに挑戦しているようですね。



宮崎県の高千穂神社から持ち帰った御神「木招霊の木(オカタマノキ)」もこんなに大きくなりました。日本神話によく登場していますね。